



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月13日

上場会社名 株式会社ジー・テイスト
 コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)阿久津 貴史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)稲角 好宣 TEL 052-910-1729
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,488	△11.3	△14	—	△14	—	△188	—
30年3月期第1四半期	6,190	△2.3	15	△37.0	42	67.1	△46	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △188百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 △46百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△0.99	—
30年3月期第1四半期	△0.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	20,292	9,251	45.4
30年3月期	20,666	9,535	46.0

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 9,218百万円 30年3月期 9,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△9.3	330	△21.2	330	△38.6	△390	—	△2.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 2社 (社名)株式会社敦煌、株式会社オーディンフーズ、 除外 — 社 (社名)
 (注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期1Q	197,051,738株	30年3月期	197,051,738株
31年3月期1Q	5,710,490株	30年3月期	5,710,489株
31年3月期1Q	191,341,248株	30年3月期1Q	191,341,599株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 平成31年3月期の期末配当予想につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合勘案いたしました上で速やかに開示するものいたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となりましたが、個人消費の回復は足踏み状況にあり、先行き不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、人材不足による採用費等のコストの高騰や、消費者の節約志向・低価格志向の高まりなど、先行きは依然として厳しい状況が続くことが懸念されております。こうした中、当社グループでは、グループ全体としてQSCの強化を図り、さらに外食事業においては、安心、安全でお客様にご満足頂ける商品提供への取り組み強化と併せ、ブランド力が高い業態への業態転換、新規出店やFC加盟開発の強化に努めてまいりました。また、平成30年6月13日に、北海道地区及び東北地区を中心にピザの宅配・販売店舗を105店舗展開している株式会社オーディンフーズを、第三者割当増資の引受けにより100%子会社にいたしました。これにより、今後、当社にて一部試験運用しております宅配寿司事業における一定のシナジー効果が期待できるものと考えております。

その他の主要外食業態では、回転寿司業態の平禄寿司において、中食事業の拡大を行うべく、3店舗目となる「宅配寿司専門店 宅配平禄名取店」を新規オープンいたしました。試験店舗ではございますが、リーズナブルな価格で定番から本格的な桶寿司まで、お客様のニーズに合わせた商品展開を実施しております。また、既存店では、活魚、活貝用として水槽を設置し、石巻市場からの鮮魚と合わせ鮮度感ある食材の提供を行い、更に美味しく新しい平禄寿司へとすべく、「平禄寿司福島矢野目店」を平成30年4月26日にリニューアルオープンいたしました。この他にも地元宮城県の「みやぎサーモン」や「厚切り牛たん焼」など仙台名物の食材を用い、競合店との差別化を図ってまいりました。

焼肉業態では、業態転換を含め「肉匠坂井」が3店舗オープンし、6月末時点でフランチャイズ店舗を含め22店舗となりましたが、今期7月以降も引き続き出店を加速させてまいります。また、焼肉食べ放題の「肉匠坂井」とは別に新ブランドとして、ボリュームがある上質のお肉をお得な価格で提供する「七輪坂井」を平成30年6月20日にオープンいたしました。肉のプロとして、現状の業態に満足せず、お客様に支持される業態づくりに努めてまいります。

その他居酒屋等の業態では、1973年創業の村さ来業態が45周年を迎えますが、全国加盟店オリジナルメニューのグランプリを開催するなど45周年企画を打ち出し、業態の再活性化を図ってまいります。また、平成30年4月には「とりあえず吾平」、6月には「ちゃんこ江戸沢」にてグランドメニューの改定を行い、さらに「とりあえず吾平」では6月に「夏の三ヶ日みかんフェアメニュー」を導入するなど、お客様にご満足いただけるメニューをご提供してまいりました。首都圏の海鮮居酒屋業態では、お客様からご好評を得ております「活鳥賊」「のどぐる」の販売強化に力を入れて、リピーターの確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、新規出店を1店舗（宅配寿司業態1店舗）及びフランチャイジーなどからの店舗買取り等による増加1店舗、その他株式会社オーディンフーズを子会社化したことによる直営店舗の増加93店舗、契約期間満了や不採算に伴い9店舗を閉店いたしました結果、外食直営店舗427店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高54億88百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失14百万円（前年同期は営業利益15百万円）、経常損失14百万円（前年同期は経常利益42百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億88百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円）となりました。

なお、前連結会計年度末において、「教育事業」を営んでいた株式会社ジー・アカデミーとNOVAホールディングス株式会社との間で締結していた教育事業（学習塾事業・英会話事業）にかかるフランチャイズ契約の期間満了に伴い、同事業から撤退いたしました。その結果、「外食事業」の単一セグメントになっているため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、202億92百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3億73百万円減少いたしました。主な要因は、当第1四半期連結会計期間より株式会社オーディンフーズを連結の範囲に含めたことにより総資産が増加した一方で、同社の債務整理及び社債の償還等により現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債総額は、110億40百万円となり、前連結会計年度末と比較し、90百万円減少いたしました。主な要因は、株式会社オーディンフーズを連結の範囲に含めたことにより負債総額が増加した一方で、社債が償還により減少したことによるものであります。

純資産額は、92億51百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2億83百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月15日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,791,880	5,973,064
受取手形及び売掛金	298,329	261,016
商品及び製品	88,727	88,988
仕掛品	1,349	1,247
原材料及び貯蔵品	225,374	217,869
その他	804,642	833,243
貸倒引当金	△11,171	△64,043
流動資産合計	8,199,132	7,311,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,666,024	3,842,188
土地	4,193,952	4,268,877
その他(純額)	411,058	421,542
有形固定資産合計	8,271,034	8,532,608
無形固定資産		
のれん	22,388	304,510
その他	164,149	166,476
無形固定資産合計	186,537	470,986
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,173,650	3,137,425
その他	1,291,592	1,296,434
貸倒引当金	△455,227	△455,966
投資その他の資産合計	4,010,015	3,977,893
固定資産合計	12,467,588	12,981,489
資産合計	20,666,720	20,292,875
負債の部		
流動負債		
買掛金	811,799	636,958
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	637,488	632,580
1年内償還予定の社債	708,000	708,000
未払法人税等	60,959	35,135
引当金	51,584	135,970
資産除去債務	19,833	74,251
その他	1,770,895	2,006,154
流動負債合計	4,360,560	4,529,050
固定負債		
社債	1,726,000	1,456,000
新株予約権付社債	1,988,768	1,990,191
長期借入金	1,640,007	1,580,052
退職給付に係る負債	35,761	54,666
資産除去債務	823,187	840,501
その他	557,372	590,471
固定負債合計	6,771,096	6,511,883
負債合計	11,131,656	11,040,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,842,326	8,842,326
利益剰余金	1,377,565	1,093,174
自己株式	△817,424	△817,424
株主資本合計	9,502,466	9,218,076
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	32,598	33,865
純資産合計	9,535,064	9,251,942
負債純資産合計	20,666,720	20,292,875

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,190,923	5,488,529
売上原価	2,230,524	1,776,179
売上総利益	3,960,399	3,712,350
販売費及び一般管理費	3,944,534	3,727,274
営業利益又は営業損失(△)	15,864	△14,923
営業外収益		
受取利息	1,094	1,668
受取配当金	490	439
業務受託料	17,057	14,362
受取補償金	25,000	-
受取保険金	-	7,630
為替差益	-	9,043
その他	17,529	4,174
営業外収益合計	61,172	37,319
営業外費用		
支払利息	7,482	8,162
貸倒引当金繰入額	115	3,315
支払手数料	15,126	15,125
その他	11,825	9,911
営業外費用合計	34,549	36,515
経常利益又は経常損失(△)	42,486	△14,119
特別利益		
固定資産売却益	525	18
新株予約権戻入益	902	-
特別利益合計	1,428	18
特別損失		
固定資産売却損	671	-
固定資産除却損	9,267	1,195
店舗閉鎖損失	960	4,458
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11,462	111,372
減損損失	2,308	56,979
特別損失合計	24,670	174,006
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	19,243	△188,107
法人税、住民税及び事業税	14,884	14,684
法人税等調整額	50,916	△14,072
法人税等合計	65,800	612
四半期純損失(△)	△46,557	△188,719
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,557	△188,719

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△46,557	△188,719
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	△46,557	△188,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,557	△188,719
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、新設した子会社株式会社敦煌及び新たに全株式を取得した株式会社オーディンフーズをそれぞれ連結の範囲に含めております。このうち、株式会社オーディンフーズは、当社の特定子会社に該当いたします。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

株式の取得(完全子会社化)及び貸付

当社は、平成30年7月31日開催の取締役会において、株式会社タケモトフーズの株式の取得及び同社への貸付けについて決議し、平成30年7月31日付で、同社が実施する募集株式を当社が引き受け、同社を完全子会社化するとともに、同社に対して資金の貸付けを実施いたしました。

(1) 株式取得の理由

当社の主要業態であるおむらいす亭をはじめとしたファーストフード業態は、フードコートでの展開を主としております。今後は、同じくフードコートでの運営を主とする株式会社タケモトフーズと当社のノウハウを相互に共有を図る事で、様々なシナジー効果が期待できることから、両社の業績向上が見込めると判断しました。

(2) 株式取得の相手の名称

株式会社タケモトフーズ

(3) 買収する会社の名称、事業内容、規模

- ①名称 株式会社タケモトフーズ
 ②主な事業内容 飲食店の運営(フードコート店、レストラン、カフェ)
 ③資本金 10,000千円(平成30年7月末時点)

(4) 株式取得の時期

平成30年7月31日

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持株比率

- ①取得株式数 100株
 ②取得価額 10,000千円
 ③取得後の持株比率 100.0%

(6) 資金調達方法

自己資金

(7) その他

株式会社タケモトフーズに対する資金の貸し付け

- ①資金使途 株式会社タケモトフーズが有する借入金等の返済資金
 ②貸付金額 195,000千円
 ③貸付日 平成30年7月31日
 ④返済期日 平成34年3月31日
 ⑤利率 3.0%